

製品・付属品 Q-01

JIS 規格

JIS G3352

合成スラブ用デッキプレートの材料はどんなものを使っていますか？

製品・付属品 A-01

デッキ合成スラブ構造は、通称デッキプレート版告示（告示第 606 号：平成 14 年国土交通省告示第 326 号の一部を改正）に規定されている「デッキプレート版」にもとづき、合成スラブ用デッキプレートに適合するものと評定を取得した種類の記号になります。耐火構造は、現在のところ国土交通大臣の耐火構造認定を取得した種類の記号は、SDP1T、SDP2、SDP2G です。

めっきの種類および記号、化学成分、機械的性質、寸法許容差については添付資料に JIS の抜粋を掲載しています。

板厚許容差は、構造材に使用する薄板鋼板であるため、耐久性、断面性能の確保などの観点から使用原板規格より厳しい規定値になっています。使用原板が熱延材、冷延材にかかわらずマイナス 5 %、プラス規定なしとデッキプレート JIS で規定されていることに留意してください。

表 1 種類の記号

種類の記号	適用厚さ mm	材 料	
SDP1T	1.2, 1.6	普通鋼	圧延のまま
SDP1TG			めっきを施したもの
SDP2			圧延のまま
SDP2G			めっきを施したもの
SDP3		耐候性鋼	
SDP4		ステンレス鋼	
SDP5			
SDP6			

参考 SDP4, SDP5, SDP6 は、各々 JIS G 4321 に規定する SUS304A, SUS316A, SUS304N2A に相当する。

《添付資料》 JIS G 3352（デッキプレート）抜粋

4. めっきの種類及び記号

めっきの種類は、溶融亜鉛めっき、溶融亜鉛－5 %アルミニウム合金めっき及び溶融 55 %アルミニウム－亜鉛合金めっきとし、適用するめっきの付着量表示記号及びめっきの最小付着量は、表 2 による。この 3 種類の溶融亜鉛めっき以外のめっきの種類を使用する場合は、受渡当事者間の協定による。

表 2 めっきの種類、めっきの付着量表示記号及びめっきの最小付着量

めっきの種類	めっきの付着量表示記号	めっきの最小付着量
溶融亜鉛めっき	Z12	JIS G 3302 による
	Z27	
溶融亜鉛－5 %アルミニウム合金めっき	Y08	JIS G 3317 による
	Y18	
溶融 55 %アルミニウム－亜鉛合金めっき	AZ90	JIS G 3321 による
	AZ120	
	AZ150	
溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき	K08	JIS G 3323 による。
	K18	
	K27	

備考 1.めっきの付着量表示記号は、各々 JIS G 3302, JIS G 3317, JIS G 3321 及び JIS G 3323 の規定による。

2.これ以外のめっきの付着量を適用する場合は、受渡当事者間の協定による。

5. 化学成分

デッキプレートは 12.1 によって試験を行い、その溶鋼分析値は表 3 による。

表 3－化学成分

単位 %

種類の 記号	化学成分										
	C	Si	Mn	P	S	Ni	Cr	Mo	Cu	N	Nb
SDP1T	0.25 以下	－	－	0.05 以下	0.05 以下	－	－	－	－	－	－
SDP1TG	0.25 以下	－	－	0.05 以下	0.05 以下	－	－	－	－	－	－
SDP2	0.25 以下	－	－	0.05 以下	0.05 以下	－	－	－	－	－	－
SDP2G	0.25 以下	－	－	0.05 以下	0.05 以下	－	－	－	－	－	－
SDP3	0.12 以下	0.25 ～ 0.75	0.20 ～ 0.50	0.07 ～ 0.150	0.040 以下	0.65 以下	0.30～ 1.25	－	0.25 ～ 0.60	－	－
SDP4	0.08 以下	1.00 以下	2.00 以下	0.045 以下	0.030 以下	8.00 ～ 10.50	18.00 ～ 20.00	－	－	－	－
SDP5	0.08 以下	1.00 以下	2.00 以下	0.045 以下	0.030 以下	10.00 ～ 14.00	16.00 ～ 18.00	2.00 ～ 3.00	－	－	－
SDP6	0.08 以下	1.00 以下	2.50 以下	0.045 以下	0.030 以下	7.50 ～ 10.50	18.00 ～ 20.00	－	－	0.15 ～ 0.30	0.15 以下

6. 機械的性質

デッキプレートは 12.2 によって試験を行い、その降伏点又は耐力、引張強さ、伸び及び降伏比は、表 4 による。

表 4－機械的性質

種類の記号	降伏点又は耐力 N/mm ²	引張強さ N/mm ²	伸び %	降伏比 %
SDP1T	205 以上	270 以上	18 以上	－
SDP1TG	205 以上	270 以上	18 以上	－
SDP2	235 以上	400 以上	17 以上	－
SDP2G	235 以上	400 以上	17 以上	－
SDP3	315 以上	450 以上	15 以上	－
SDP4 SDP5	235 以上 ¹⁾	520 以上	40 以上	60 以下
SDP6	325 以上 ¹⁾	690 以上	35 以上	60 以下

注 1) SDP4, SDP5 及び SDP6 の場合は、0.1 %耐力に適用する。

8.3 寸法許容差

デッキプレートの形状及び寸法の許容差は、表 7 による。

なお、めっきを施したものの厚さの許容差は、原板の表示厚さに適用する。

表 7－寸法許容差

単位 mm

項目		許容差
高さ (H)		±1.5
有効製品幅 (W ₀)		+8 -2
表示厚さ (t) (平板部分の厚さ)		-5 %
長さ	7m以下	+ 40 0
	7m超	長さ 1 m 又はその端数を増すごとに、上記プラス側許容差に 5 mm を加える。
横曲がり ^{d)}	平板部分の長さ方向の横曲がり	長さの 0.2 %以下

備考 1. 表 7 以外の形状寸法の許容差は、受渡当事者間の協定による。

2. 断面寸法の測定位置は、デッキプレートの両端部を除く任意の点とする。

3. 平板部分とは、図のような斜線部分をいう。

4. 横曲がりとは、デッキプレートを水平に置いたときの長さ方向全体の横曲がりの度合いをいう。

5. めっきを施したものの厚さの許容差の適用

(例) 原板の表示厚さが 1.2mm の SDP1TG で、亜鉛めっきの付着量が 183g/m² (めっきの厚さは、 $183 \times 10^{-4} / 7.14 = 0.0026\text{cm} = 0.026\text{mm}$) の場合は、 $1.2 + 0.026 = 1.226\text{mm}$ に対して -0.06mm ($=1.2 \times 5\%$) となる。

なお、めっき厚さを計算する場合、溶融亜鉛めっき、溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき及び溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっきの密度は、各々 7.14, 6.59, 3.68 (g/cm³) とする。

以上、JIS 規格から抜粋

